

ストリート・チルドレンのための学校

ープロジェクト詳細ー

開発インストラクターとなるみなさんへ

この「プロジェクト詳細」では、ストリート・チルドレンのための学校についての一般的な紹介をします。次に、具体例や組織構造にそいながら、仕事の内容について説明をいたします。

DI（開発インストラクター-Development Instructor の略称。ボランティア。プログラムに参加した学生のこと）としての仕事は、たくさんあります。仕事内容は、プロジェクトやコミュニティの要求、予算の状況によって変化します。

ストリート・チルドレンのための学校は、子ども達の教育レベルの向上のため設立され、全ての子ども達が教育にアクセスできることを目標としています。学校では勉強だけではなく、生活面や将来への準備に関する指導も行われます。

DI は活動を通して、特定の協力者から資金を回収します。また、DI は教師のコンピューター・スキルの上達や、その他のスキル上達のためのトレーニングを行います。子ども、教師、コミュニティの要求に合わせて、彼らと一緒に働くこととなります。仕事は教えることだけではなく、実践的な活動を行ったり、子ども達の成長に関するレポートや書類作成を寄付者や関係機関に提出したりします。



I. はじめに

基礎教育を受けることは、子ども達の基本的権利です。アフリカの多くの国では、子ども達が一度も学校に行く機会を与えられず、教育を受けることができない状況です。その理由は戦争、経済状況、貧困、病気、過去に犯した犯罪や両親を亡くしたことによります。このような子ども達は、教育を受けずに育ちます。



Humana People to People(以下 Humana)の運営する学校は、普通の小学校に通えない子ども達を日々、受け入れています。Humana の学校は 1990 年代に開始され、政府の協力の下で子ども達を路上から保護してきました。残念なことに、モザンビークやアンゴラの情勢悪化に伴い、今日の状況は悪化の傾向にあります。戦争による被害により、路上で生活する子どもの数が増えたことによります。さらに、HIV/AIDS により、両親を亡くした子どもの数が劇的に増えていることも原因です。このように、学校に通えない子ども達の背景は様々なため、状況を複雑で難しくしています。

2008 年現時点、Humana はストリート・チルドレンのための学校を 7 つ運営し、4,000 人の子ども達が学んでいます。学校はアンゴラに 2 校、モザンビークに 5 校あり、これらの学校の概念はだいたい共通していますが、独自の伝統や特徴も備えています。教育内容は各国の定めるカリキュラムに沿い、これに従って授業は行われます。学校は政府と良い関係を結び、子ども達の保護と受け入れを行っているのです。

II. ストリート・チルドレンのための学校は何をするか？



ストリート・チルドレンのための学校では、午前中にアカデミックなトレーニングを行い、午後には実践的活動、文化的活動、スポーツなどを行います。子ども達の多くが午前、午後両方の授業に出席し、学校生活を送っています。



子ども達の年齢に関係なく、彼らは 1 学年～8 学年までに在籍します。教師は基本的な教科を教えて生活に必要な実践的なトレーニングを行い、将来、子ども達が自立をできるように教育します。そしてまた、8 学年生の子どもは、中学校に入学するための準備をすることができます。

Ⅲ. 人々、組織、経済状況

1つの学校には、200～1,000人の子ども達が在籍しています。プロジェクト・リーダーが校長を務め、多くの教師やスタッフもいます。スタッフは経理、警備、給食などを担当しています。DIには、スタッフと教師をまとめるという任務もあります。

学校は、一般の小学生より年齢が上の子ども達にも、小学校のカリキュラムに沿って教育を行います。また、学期制を採用しており、他の学校同様に夏休みなどの休暇もあります。さらに夕方と週末のプログラムも実施されます。

校長、教師とDIは何度もミーティングを開き、問題の解決のために動きます。子ども達は料理、掃除、ガーデニング、設備のメンテナンスや資材管理などにも参加します。

ストリート・チルドレンのための学校の収入は、学校の運営のために得ています。大まかに言いますと、授業料は予算の5%から賄われ、50～70%は政府によって支払われます。そして、残りは開発協力の協力者による援助で賄われています。



Ⅳ. 開発インストラクターの役割と仕事

ストリート・チルドレンのための学校で働くなら、DIは各個人が持っている全てのスキルを活用し、目標達成に向けて頑張らなくてはなりません。プロジェクト・リーダーの下でチームの一員として働くので、チームワークが重要となります。プロジェクト内の教師やリーダーからスキルを学び、学校に貢献できるようにしなければなりません。

DIは全てにおいてプロジェクト・リーダーをサポートし、道具の修繕や記録をとったり、学校に関する情報を広めたりと、実践的な活動を行います。

そのため、様々な問題に直面することをあらかじめ想定し、解決できるように備えておくことが大切です。そのためには、忍耐強さ、粘り強さ、想像力が必要になります。

また、DIは子ども達に関するレポート作成、統計作成、データベースの更新を行い、期限内にプロジェクトの寄付者に対して、これらの情報を提出しなければなりません。



V. 開発インストラクターの担当範囲

下記にDIの仕事に関する具体的な例を説明します。

教えること

子ども達に対して、学校の要求やDIのスキルに合わせて英語、数学、科学、地理などを教えます。また、生活に必要な栄養、健康、経済に関して文化やスポーツを通して教えることもあります。DIは教師がDMM（コンピューターのデータベースを利用した学習方法）を使用したり、教材を作成したりするのをサポートします。

実践的な活動

DIは設備のメンテナンスや学校の美化、野菜の栽培や収穫といった実践活動を計画し、子ども達と一緒に実行します。学校によっては、裁縫やレンガ製造といった特別施設があり、ここでトレーニングを行う場合もあります。

コミュニティのためのプログラム

学校はコミュニティにおけるカルチャー・センターの役目も果たしており、DIは子どもとその家族など、コミュニティの人々を集めてイベントを行います。このプログラムでは、オープンサンデー、両親の日、卒業式、カルチャー・イベント、スポーツ・トーナメント、教育的なプレゼンテーションの実施、野菜の栽培方法をなどを実際に行うなど、多くの活動を行います。



パートナーシップ

DIはプロジェクトの運営のための資金調達を行い、子ども達のスポンサーに依頼状を書いたりします。学校で新たな事を開始する場合も、資金調達が必要となります。

教育のための受け入れと動員

いくつかの地域では、教育を受けていない子どもの家族に対して、教育の重要性を理解してもらえるよう説得し、登録まで行います。この際、DIは家族が子どもの学費や制服代といった費用を確保できるようサポートすることも必要となります。

コミュニティのためのイブニング・コース

学校での授業は日中だけになるため、学校の設備を利用して、夕方にコミュニティを対象にイブニング・コースを開くことができます。DIはコミュニティ内の子どもを持つ大人達を対象に、栄養、健康、HIV/AIDS、識字教育などのコース（学習会）を開きます。



VI. ストリート・チルドレンのための学校プロジェクトで働くために

DRH スクールに滞在中、DI はこのプロジェクトで活動できるように、十分な準備が必要です。

- ◆ 実践的な活動を準備して人々を指導し、問題の解決ができるようなトレーニングを積みましょう。
- ◆ ポルトガル語圏の国へ派遣される場合は、日常生活に支障のないようしっかり勉強しましょう。また、現地語で挨拶や簡単なフレーズなどを覚えることも大切です。
- ◆ 子どもに教えたり、文化的活動を行ったり、大勢の大人を集めてコースを開くためのトレーニングをしましょう。
- ◆ 健康管理をしっかりしましょう。適度な運動も行い、アフリカでの仕事や長距離のウォーキングに備えましょう。
- ◆ レポートや統計の作成スキルを伸ばしましょう。
- ◆ スポーツやカルチャー・プログラムといった、特別活動を考えて、実行できるように準備しましょう。
- ◆ DMM 学習の使い方や学び方について、しっかりと学んでおきましょう

VII. プロジェクト期間に関して

プロジェクト期間は 25 週あり、各週の詳細は下記のとおりです。

ピリオド 1 : 最初の 6 週間

プロジェクトの一員となり、人々に紹介されて与えられたポジションで仕事を開始します。

ゴールデン・カット・ミーティング

最初の 6 週間が過ぎると、プロジェクト・リーダーがプロジェクトを評価します。DI はこれまでの活動結果を報告し、進行状況について説明します。

タスク・フォース・ミーティング

この週では地域、もしくは国レベルで DI が集まり、実践的な活動を行います。この活動は地域、もしくは国のリーダーにより計画されます。タスク・フォース・ミーティングは決まった時期はなく、派遣期間中ふさわしいと思われるタイミングで行われます。

休暇と研究の週

この週では、DI は自分の選択で派遣国内を旅行することができます。業務の進行状況やタイミングを考慮して計画し、プロジェクト・リーダーの許可を得て旅行することになります。

ピリオド 2 : 15 週間

この 15 週間の間、DI はこれまでの業務を継続して行い、期間の終わりには自己評価をして最終レポートをまとめ発表します。プロジェクト・リーダーや関係者と一緒に、レポートの内容について議論をします。最後に、これまでの担当業務を次の DI に引き継ぎ、事後研修期間に入ります。

週末

週末の活動は、プロジェクト・リーダー、DI、プロジェクトの責任者で計画を立てます。ひと月の週末の活動例を下記に示します。

- ・ プロジェクトの特別活動やイベントは生徒、スタッフ、DI で行う。
- ・ 地域内の2~5つのプロジェクトで、まとまって活動をしたり、達成度や計画についてミーティングを開いたりする。(クラスター・ミーティング)
- ・ ビルディング・ウィークエンドは全員が参加するプログラムで、建物や外のメンテナンスの修理と建設を行う。プロジェクト・リーダー、DI、その他の担当者が計画を立てて準備し、プロジェクト関係者が参加する。
- ・ 自由に週末を過ごす。

レポート

DI として、下記の内容に関して発表や話し合いを行うことになります。

- ・ 週次レポート
- ・ 月次レポート
- ・ 中間レポート
- ・ 最終レポート
- ・ 「研究の週」で行った事に関するレポート

VI. 最後に

今回は、ストリート・チルドレンのための学校の仕事に関する一般的な事柄を説明しました。一読したことで、どのような仕事があるか理解して頂き、ストリート・チルドレンのための学校で活動したいかどうかを考え、出発に向けた準備を始めることができたのではないのでしょうか。

このストリート・チルドレンのための学校に関する「プロジェクト詳細」を一読し、次に行うことは、プロジェクト・リーダーに対するプレゼンテーションを準備することです。このプレゼンテーションの準備は、DI が開始してから3ヶ月が過ぎた時にある、「ミッドウェイ・ミーティング」の課題でもあります。

そして、このプレゼンテーションは、チームメイト、担当の指導教員、ヘッドマスターにより審査され、認められた後にプロジェクトリーダーへ送られます。

その後、プロジェクト・リーダーはプロジェクト内の特定した業務範囲、業務計画を派遣の約2ヶ月前に連絡してきます。ですので、この出発までの2ヶ月で精神面、肉体面、スキルなどを鍛え準備を整えることができるでしょう。

あなたが最善の力を発揮し、成功をつかめますように・・・